

自己改革



JA千葉みらい自己改革の取り組み

第2回目は、『販売事業』についてご案内いたします。

米の買取販売の強化

JA全農ちば及び行政との協議を行い、今まで以上に学校給食の増加をはかります。

また、新規取引先の拡大をはかり、他企業との直接契約取引及び買取販売強化に努めます。

オール千葉体制の構築と農産物の輸出促進

出荷規格の統一・品種別販売方針の策定や試食会等によるPRを絡め、千葉県産青果物の需要を高めます。

青果物買取、買付、契約販売の強化

市場との連携をはかり、園芸連の機能強化及び販売ロットの確保をはかり有利販売を行う。また、スーパー・量販店への買付販売の拡大を行い所得向上を目指します。

インショップ販売の拡大

定期的なイベントを開催し地元野菜の販売強化をはかります。

6次産業化の企画・販売

主要品目(人参、落花生、米等)を使用したオリジナル商品の開発を行います。

花卉・苗等販売の拡大

市場出荷による有利販売や直売所等へ出荷のサポートを行います。

農作物の新規品目への取り組み

新たな野菜の導入として、農作業の効率化及び簡素化をはかる為、手軽な(軽量)野菜と農閑期対策として新規品目の提案をいたします。

選果場の利用エリア撤廃と生産拡大

全地域生産者へ佐倉選果場や八街選果場の利用エリア撤廃に関する説明会や周知を行いながら、農業者の所得増大・生産の拡大に繋げていきます。